

## 安全データシート

### 1. 化学物質等及び会社情報

製品の名称	ポアメディア® アセトアミド培地
製品コード	E-MQ11
会社名	栄研化学株式会社
本社住所	〒110-8408 東京都台東区台東4-19-9
担当部門住所	〒329-0114 栃木県下都賀郡野木町野木143番地
担当部門名	信頼性保証統括部
担当部門電話番号	0280-56-2822
緊急連絡電話番号	0280-56-2822
FAX番号	0280-56-2422
推奨用途及び使用上の制限	細菌検査用の培地として使用

### 2. 危険有害性の要約

GHS分類	分類実施日	アセトアミド(0.3w/w%含有) H25.8.22、政府向けGHS分類ガイダンス(H25.7版)を使用 GHS改訂4版を使用
物理化学的危険性		区分外
健康に対する有害性		区分外
環境に対する有害性		区分外
分類実施日		急性毒性:H22.2.19、政府向けGHS分類ガイダンス(H21.3版) 慢性毒性:H18.3.31、GHS分類マニュアル(H18.2.10)を使用

注) 上記のGHS分類で区分の記載がない危険有害性項目については、政府向けガイダンス文書で規定された「分類対象外」、「区分外」または「分類できない」に該当する。なお、健康有害性については後述の11項に、「分類対象外」、「区分外」または「分類できない」の記述がある。

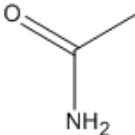
#### GHSラベル要素

##### 絵表示又はシンボル

注意喚起語	該当しない
危険有害性情報	該当しない
注意書き	
安全対策	該当しない
応急措置	該当しない
保管	該当しない
廃棄	該当しない
他の危険有害性	情報なし
国・地域情報	知見なし

### 3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別	混合物
組成・成分	酵母エキス、ブドウ糖、塩化ナトリウム、リン酸1カリウム、アセトアミド(0.3w/w%)、フェノールレッド、カンテン

化学名又は一般名 別名	アセトアミド 酢酸アミド、(Acetic acid amide)、エタンアミド、(Ethanamide)、 メタンカルボキサミド、(Methanecarboxamide)
濃度又は濃度範囲 分子式(分子量) 化学特性(示性式又は構造式)	濃度は「組成・成分」参照 CH <sub>3</sub> CONH <sub>2</sub> 
CAS番号	60-35-5
官報公示整理番号(化審法)	(2)-724
官報公示整理番号(安衛法)	既存
分類に寄与する不純物及び安定 化添加物	情報なし

#### 4. 応急措置

##### 吸入した場合

新鮮な空気のある場所に移し、安静にする。症状があるときは、医師の手当を受ける。

##### 皮膚に付着した場合

多量の水で十分に洗う。炎症を生じた時は医師の手当を受ける。

##### 眼に入った場合

直ちに多量の水で15分以上洗い流す。異常があれば医師の手当を受ける。

##### 飲み込んだ場合

水を飲ませ、吐かせる。必要があれば医師の手当てを受ける。

##### 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

皮膚

発赤、痛み。

眼

発赤、痛み。

##### 応急措置をする者の保護

情報なし

##### 医師に対する特別な注意事項

情報なし

#### 5. 火災時の措置

##### 消火剤

水、粉末、炭酸ガス、泡

##### 使ってはならない消火剤

該当なし

##### 特有の危険有害性

火災時に刺激性もしくは有毒なヒューム(またはガス)を放出する可能性がある。

##### 特有の消火方法

危険でなければ火災区域から容器を移動する。安全に対処できるならば着火源を除去すること。

##### 消火を行う者の保護

ヘルメット、保護めがね、防塵・防毒マスク

#### 6. 漏出時の措置

##### 人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

作業の際には、必要に応じて保護具を着用する。

##### 環境に対する注意事項

漏出物を河川等に直接流してはいけない。大量の水で希釈する場合には、排水が適切に処理されずに環境へ流出することがないように注意する。

##### 封じ込め及び浄化の方法及び機材

回収・中和	飛散したものはできるだけ拭き取って回収し、その後多量の水を用いて洗い流す。
二次災害防止策	データなし

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	技術的対策	火気厳禁とし、強酸化剤との接触をさける。
	局所排気・全体換気	屋内作業場における取扱い場所では、局所排気装置を使用する。
安全取扱い注意事項	安全取扱い注意事項	容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、また引きずるなどの粗暴な扱いをしない。
	接触回避	吸い込んだり、目、皮膚および衣類に触れないように、適切な保護具を着用する。
	衛生対策	取扱い後はよく手を洗うこと。
保管	安全な保管条件	酸化剤並びに酸化性の強い物質との保管は避ける。
	技術的対策	光及び冷風を避けて、2～10℃に凍結させないように保管する。
	保管条件	ガラス
	安全な容器包装材料	ガラス

## 8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度	未設定	
許容濃度	(ばく露限界値、生物学的ばく露指標)	
	日本産衛学会(2014年度版)	
	ACGIH(2014年版)	
設備対策	未設定	
	未設定	
	屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、または局所排気装置を設置する。取り扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設ける。	
保護具	呼吸用保護具	防塵マスク、空気呼吸器
	手の保護具	保護手袋
	眼の保護具	保護眼鏡、側板付き保護眼鏡
	皮膚及び身体の保護具	保護衣、保護長靴
衛生対策		

## 9. 物理的及び化学的性質

物理的状态	
形状	斜面培地(ゲル)
色	淡黄色
臭い	特異なおいがあるが腐敗臭はない。
臭いのしきい(閾)値	データなし
pH	6.3±
融点・凝固点	混合物としてデータなし
沸点、初留点及び沸騰範囲	混合物としてデータなし
引火点	混合物としてデータなし
蒸発速度(酢酸ブチル=1)	混合物としてデータなし
燃焼性(固体、気体)	混合物としてデータなし
燃焼又は爆発範囲	混合物としてデータなし
蒸気圧	混合物としてデータなし
蒸気密度	混合物としてデータなし
比重(相対密度)	混合物としてデータなし
溶解度	混合物としてデータなし
n-オクタノール/水分配係数	混合物としてデータなし

自然発火温度  
分解温度  
粘度(粘性率)  
粉じん爆発下限濃度  
最小発火エネルギー  
体積抵抗率(導電率)

混合物としてデータなし  
混合物としてデータなし  
混合物としてデータなし  
混合物としてデータなし  
混合物としてデータなし  
混合物としてデータなし

## 10. 安定性及び反応性

混合物としてデータなし

反応性  
化学的安定性  
危険有害反応可能性  
避けるべき条件  
混触危険物質  
危険有害な分解生成物

<アセトアミドの安定性及び反応性として>  
法規制に従った保管及び取扱においては安定と考えられる。  
安定。潮解性あり。  
データなし  
データなし  
データなし  
データなし

## 11. 有害性情報

混合物としてデータなし

急性毒性 経口

<アセトアミドの有害性情報として>  
ラットのLD50値として、10,300 g/kg (IARC 7 (1974))、7,000 mg/kg (環境省リスク評価第5巻:暫定的有害性評価シート(2006))の報告に基づき、区分外とした。

経皮

吸入:ガス

吸入:蒸気

吸入:粉じん及びミスト

データ不足のため分類できない。  
GHSの定義における固体である。  
GHSの定義における固体である。  
GHSの定義における固体である。  
データ不足のため分類できない。  
データ不足のため分類できない。

皮膚腐食性及び刺激性

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

呼吸器感受性

皮膚感受性

生殖細胞変異原性

発がん性

データなし  
データなし  
データなし

区分2:CAS番号:60-35-5(含有率=0.3% 出典:NITE)  
危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分外に該当。

生殖毒性

区分2:CAS番号:60-35-5(含有率=0.3% 出典:NITE)  
危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分外に該当。

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

吸引性呼吸器有害性

データなし  
データなし  
データなし

## 12. 環境影響情報

生態毒性 水生環境有害性(急性)

甲殻類(オオミジンコ)での24時間EC50 > 10g/L(AQUIRE, 2010)であることから、区分外とした。

水生環境有害性(長期間)

難水溶性でなく(水溶解度=2.25 × 10<sup>6</sup>mg/L(PHYSPROP Database, 2005))、急性毒性が低いことから、区分外とした。

## オゾン層への有害性

当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。

## 13. 廃棄上の注意

### 残余廃棄物

焼却法  
廃棄においては関連法規ならびに地方自治体の条例に従うこと。  
上記方法による処理ができない場合は都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者に委託処理する。

### 汚染容器及び包装

空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に処分する。

## 14. 輸送上の注意

該当の有無は製品によっても異なる場合がある。法規に則った試験の情報と、分類実施中の12項の環境影響情報とに、基づく修正の必要がある。

### 国際規制

国連番号	該当しない
国連品名	該当しない
国連危険有害性クラス	該当しない
副次危険	該当しない
容器等級	該当しない
海洋汚染物質	該当しない
MARPOL73/78附属書II及びIBC コードによるばら積み輸送される 液体物質	該当しない

国内規制	海上規制情報	該当しない
	航空規制情報	該当しない
	陸上規制情報	該当しない

特別安全対策  
運搬に際しては容器に漏れの無い事を確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

緊急時応急措置指針番号  
該当しない

## 15. 適用法令

法規制情報は作成年月日時点に基づいて記載されております。事業場において記載するに当たっては、最新情報を確認してください。

### 労働安全衛生法

名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9)【13 アセトアミド】

### 化審法

化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法) 混合物としては非該当

## 16. その他の情報

### 参考文献

各データ毎に記載した。

SDSは、品質保証書、規格書ではありません。

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データ等に基づいて作成しておりますが、必ずしも十分ではないので注意して取り扱ってください。

また、注意事項は通常の取扱いを対象としたもので、特殊な取扱いをする場合には、用途・用法に応じた安全対策を施してください。